



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 68

地球地図パキスタン第2版の公開

アスマト・アリ
パキスタン測量局副局長



筆者

パキスタン測量局 (SOP) は、王立インド測量局の一部の後継機関として設立されたわが国の国家測量地図作成機関で、主として国全体のあらゆる種類の陸地の地形測量の責任を有しています。基本的な成果物には縮尺5万分1及び25万分1の地図等があります。本測量局は国家開発プロジェクトに積極的に参加しているため、政府機関、半政府機関や自治体の、様々な、ますます増加する測量地図作成の要望に応えています。本測量局により作成・維持される測地データは、その精度や利用において他に類をみません。近年、本測量局は、現代の科学技術、手法や装置を用いた測量・地図作成へと徐々に移行しながら、画期的に転換してきました。これは、地理情報システム等の広範なアプリケーションを開発するための地形データの利用や操作において卓越した能力をもたらしました。

地球地図パキスタン第2版

地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 事務局は、地理空間情報の共有、交換や普及を可能にするために、世界中の多くの国々間での地理空間環境の調整を推進しています。また、パキスタンは地球地図の参加国リストの一部です。地球地図パキスタンの最初のデータは2008年4月14日に公開されました。参加を継続するために、ISCGMは地球地図パキスタン第2版を公開しました。これはパキスタン測量局とISCGMの共同作業です。

地理空間情報の特徴の一つは、それが本来の作成目的を超えて、その他多くの目的のために共有や利用が可能であることです。そのため、地球地図パキスタン第2版データは、ISCGMホームページ：<http://www.iscgm.org/gmd/download>のダウンロードページに掲載されたデータポリシー文書で述べられる条件により、交通、環境、天然資源、農業、遠隔通信、地図作成、保健、救急サービス、国土安全保障、研究等の分野で利用可能となるでしょう。

地球地図パキスタン第2版データは、包括的なベクタレイヤばかりでなく、ベクタレイヤのメタデータからも構成されています。メタデータの利用は、エンドユーザがアプリケーション開発やデータの利用目的への適合性を決定する役に立ちます。ベクタデータは地球地図品質管理プログラム (GMDC) を用いて検証され、地球地図メタデータ・エディタはメタデータの編集に便利でした。両方のソフトウェアはISCGMからパキスタン測量局に無料で提供されました。このように、ISCGMはパキスタン測量局がそのデータを公開し、発見できるよう支援し、また、全地球空間データ基盤 (GSDI) の真の構想に必要とされる地理空間技術を本測量局に提供しています。



第19回国連アジア太平洋地域地図会議 (UNRCC-AP)、
第18回アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) 及び第1回 UN-GGIM-AP 会合

河瀬 和重
国土地理院企画部国際課長



UNRCC-AP 会議場全景

第19回国連アジア太平洋地域地図会議 (UNRCC-AP) は、2012年10月29日～11月1日にタイ・バンコクの国連会議センターにおいて開催されました。

会議には、地理空間情報当局代表者等約36ヶ国・機関から約130名が参加しました。国連統計部地球規模の地理空間情報管理 (GGIM) 地域間アドバイザーの Greg Scott 氏が開会を宣言し、続いて Paul Cheung 国連統計部長・GGIM 事務局長と、H.E. Group Captain Anudith Nakornthap タイ王国情報通信大臣の挨拶がありました。

開会の挨拶とそれに続く事務手続の後、本会議の議長として、Li Pengde 中国国家測繪地理情報局副局長が、副議長に福島応用地理部長及び Abdul Kadir Taib マレーシア測量局長が選出され、書記として、Cho Woosug 韓国国土地理情報院シニアアドバイザー（仁荷大学教授）が選出されました。

組織構成上の事項については、技術委員会 (TC) として、Ⅰ：「持続可能な開発のための測地参照系」、Ⅱ：「災害管理のためのデータ共有及び統合」及びⅢ：「経済成長のための位置ベースの情報管理」の設置が採択され、各委員会 (TC) ごとに平行セッションが開催されました。セッションでは、今後3年間の取組について議論され、議事録に盛り込



国連統計部長 (左)、タイ通信大臣 (中央)

む文案が作成されました。

本会議においては、下記の事項に関する決議が採択されました。

1. 測地基準系
2. 災害管理におけるデータ共有及び統合
3. 位置情報の取得及び管理
4. 地理空間情報の提供に係るスマートサービス
5. 地理空間情報の提供及び活用能力
6. 地理空間情報の実用性及び利益
7. 倫理規定に関する共同声明
8. 地理空間情報管理に係る地域及び地球規模の取組における協力
9. 第20回国連アジア太平洋地域地図会議



セッションの座長を担当する
国土地理院福島応用地理部長



第1回 UN-GGIM-AP 集合写真

第19回国連アジア太平洋地域地図学会に引き続き、第18回アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) が開催され、約20か国から約50名が参加しました。

議事において規約改正が行われ、“PCGIAP”の名称を国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会 (“UN-GGIM-AP”) に変更することが合意されました。向こう3年間の理事の構成として、会長に中国 (Li Pengde 国家測繪地理情報局副局長)、副会長に韓国 (Im Joobin 国土地理情報院長)、事務局長に日本 (国土地理院村上企画部長) が選任されました。

第19回 UNRCC-AP で設置が採択された TC に対応する WG が設置され、各 WG の役員構成は次のとおりとなりました。

WG 1 座長：豪州

副座長：日本、中国、韓国、イラン

WG 2 座長：イラン

副座長：インドネシア、中国、ニュージーランド

WG 3 座長：中国

副座長：マレーシア、豪州

上記を受け、各 WG の向こう3年間の行動計画を1ヶ月後までに提出するよう各 WG 座長へ要請することが採択されました。

第1回 UN-GGIM-AP 理事会は来年4月後半に中国・成都で、第2回 UN-GGIM-AP 総会は来年10月28日～30日にイラン・テヘランで開催することが予定されました。

事務局である日本は、ホームページ (URL:<http://www.gsi.go.jp/un-ggim-ap/>) を立ち上げ、法規 (statute)、規定 (rule)、役員 (Executive member)、WG メンバー、第1の回会合資料を公開しています。

今後、委員会の活動に合わせて内容を更新していきます。



事務局から

GLCNMO (Global Land Cover by National Mapping Organizations) と PTC (Percent Tree Cover) の第 2 版について

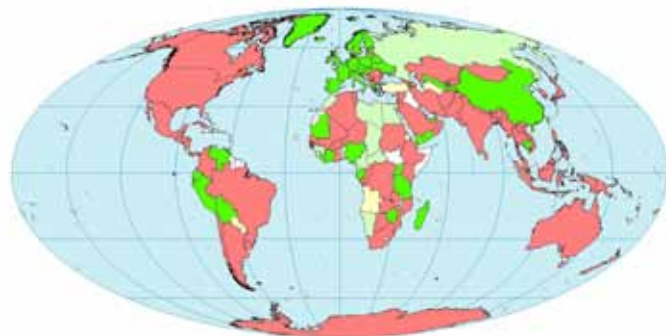
現在、ISCGM WG 4 (座長：千葉大学 建石隆太郎教授) 及び ISCGM 事務局である国土地理院は、各国の国家地図作成機関の協力を得ながら、全球の土地被覆及び樹木被覆率の第 2 版の作成を進めています。

2008 年公開の第 1 版は 2003 年の Terra MODIS の画像 (1km 解像度) を用いて作成しました。第 2 版は 2008 年の同衛星画像 (500m 解像度) を用いて作成しており、森林や農地、市街地等の分布をより詳細に把握することができます。現在、試作版を各国の国家地図作成機関で検証しています。検証結果を元に、来年 2013 年半ばに公開予定です。

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2012 年 9 月 25 日に前回のニューズレターが発行されて以降、7 カ国 (アゼルバイジャン、バーレーン、バングラデシュ、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、ラトビア及びマレーシア) の地球地図第 2 版が公開されました。

現在 166 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、76 カ国 / 5 地域 (うち Ver.2 を公開しているのは 19 カ国 / 1 地域) の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境についてはいかなる組織によっても公認されたものではありません。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2013 年

- ・ 2 月 4 日～ 6 日、ドーハ、カタール

地球規模の地理空間情報管理に関する
第 2 回ハイレベルフォーラム

- ・ 4 月後半、成都、中国

第 1 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する
アジア太平洋地域委員会理事会

- ・ 7 月 21 日～ 24 日、ケンブリッジ、英国
ケンブリッジ会議 2013
- ・ 7 月 24 日～ 26 日、ケンブリッジ、英国
第 3 回地球規模の地理空間情報管理に関する
国連専門家委員会
- ・ 10 月 28 日～ 30 日、テヘラン、イラン
第 2 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する
アジア太平洋地域委員会総会



NEWSLETTER は地球地図情報誌として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上の多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。本誌の記事は、原文をそのまま掲載してあります。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org